

先週のマーケット動向(9月6日~9月10日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,155.0	1,173.9	1,155.0	1,169.1	+12.1
JPY/KRW	10.5210	10.6934	10.5238	10.6369	+0.122
KOSPI	3,196.30	3,206.25	3,103.38	3,125.76	▲75.30

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。3日に発表された米雇用統計が軟調な結果だったことで、ややドル売りとなり6日は1,155.0ウォンでオープンした。この日は米国休日を控え市場全体として取引が閑散としていた他、この週全体を見てECB会合以外に目立った材料が乏しかったことから、7日にかけてドル/ウォンはほとんど動意のない展開となった。しかし、7日海外時間にコロナ対策として導入されていた米失業保険の補助給付が期限を迎えたほか、ECBを前にパンデミック緊急買入の縮小が示唆されるとの懸念から欧州の長期金利が上昇すると、リスクオフのドル買いとなりドル/ウォンも上昇。さらに8日には韓国大手プラットホーム企業への独占的地位に対し、規制強化が国会で議題に上がると、外国人投資家による株売りが入りドル/ウォンは上昇。10日には1,173.9までつけたものの、米中首脳会談が架電にて行われたとの報道を受け、市場のムードが一転するとドル/ウォンも反落。結局、先週末対比12.1ウォン上昇の1,169.1ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場は底堅い展開をを予想する。先週末の米中首脳会談は市場で一定の評価はされた一方で、市場は米景気見通しへの不透明感やからリスクオン相場に戻りきれない印象だ。また、先週は韓国大手プラットホームへの規制強化懸念から外国人投資家による株売りが入りドル/ウォンが大きく下落するような相場とはいえない。かかる状況下、ドル/ウォンは安値1,160付近を下限とし徐々にレンジを切り上げる展開を予想する。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1160 ~ 1185	10.50 ~ 10.80	108.9 ~ 110.9

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 14日(火) 日 7月 鉱工業指数 確報値
米 8月 CPI
- 15日(水) 韓 8月 失業率
米 9月 NY連銀製造業指数 速報値
中 8月 鉱工業生産
中 8月 小売売上高
米 8月 鉱工業生産
日 7月 機械受注
- 16日(木) 米 8月 小売売上高
日 8月 貿易統計
- 17日(金) 米 9月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値
欧 8月 CPI 確報値